

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービス シュエット南柏教室		2025年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・障害物になると思われた柱を逆目印として歩くところを指定できている。	・柱があるため、活動スペースを分ける方向にあるのでそれをもう少ししっかり行えたい。 ・広さは十分だが、ドアの開閉部分は注意が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・お子さんの状態をみんなで共有できている ・きちんと見守る体制が出来ていると感じている	・人任せになる部分があるので気を張って常に声をかけあい気を張って仕事をする。 ・児童に背を向けない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・玄関がバリアフリーであることはとてもいい ・今の環境はルール化されて子ども達もわかりやすくなっていると感じている ・視覚カードを壁に貼っている	・駐車場の階段が危ないと感じることがある ・児童が入ってはいけないところを明確にする ・動線(構造化)などを考慮してよりよくする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	・動と静の活動ができるように区切る工夫をしている ・空気洗浄機を使っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・クールダウンが必要な際に個室を利用している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	職員がきちんと常に業務改善に取り組んでいると常を感じる	・ヒヤリハットの共有をしていることが良いと思います ・業務に偏りがあるように思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	保護者にも評価してもらっており保護者の意見が聞けるのは良いことだと思った	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・会議でも新しい案が検討されていて 常にアップデートされているように感じる ・管理者との定期的な面談の機会があり、意見等を伝えることができています。また、必要に応じて業務改善にも繋がっていると思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・事業所を見学した時の見学者からの所感の記録を見せてもらったことがあり、そういう意見をとても大切にしているのだと感じた	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・個別の支援が個別学習のファイルに入っており職員がわかりやすいようになっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・支援計画に基づき保護者の意向をきちんと口頭やまとめ書きで聞いている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	・それぞれの子どもに対する知識など、職員が共通理解出来ていると感じる	・できているがさらに精度を上げていきたい
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・子どもによって朝の支度の行動スケジュールが視覚化されていたりして工夫していると感じる	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	・子どもに合わせた支援が出来ていると感じている	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・子どもに応じて 参加の仕方を変えるなど個々に合わせた支援を考えていると感じる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・毎朝の朝礼での伝達事項があることで 連携されていると感じる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	当日に全体で振り返りの場を設けることは難しいが、翌日の朝礼の場などで支援の振り返りを行ったり、改善点等についての話し合いをすることができている。	当日ではなくても情報共有する仕組みができている為、継続していければと思う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3	・個別学習に関し 記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・子どもの発達にあった支援をしていることから、きちんと判断しているものと感じる	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・職員が子どもの状況を理解していると感じている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・お迎え時等の保育園の職員の 体調等の申し送り等はきちんとされていると感じる	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		・保育所や認定こども園、幼稚園での日々の様子が分からないこともあるため、関係機関との連携は更に密に行えたら良いのではないかな。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		学校等とのやり取りは多くないと感じる。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・近隣の公園に出掛けた際には、少しの時間ではあるが一緒に遊んだりする機会がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・連絡帳やLINEのやり取りで 共通理解していると思う	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・変更に伴い 利用者全員にお知らせしている	今後の課題として検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者の面接での意向を聞いている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・保護者会をしている	今後のニーズに合わせて検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・申し入れがあると全体周知され対応していると感じる	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎日の連絡帳で個別に事業所での様子をお知らせしたり、毎月のキッズレターやSNS(Instagramやブログ)も更新し、事業所での様子やレクリエーションの内容を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		・マニュアルはあるが訓練の回数が増えるにより対応しやすくなると思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ヒヤリハットをすぐに記入できるよう工夫し、職員間で共有する環境ができている。また、朝礼や職員会議で定期的に再発防止に向けた方策を検討する場も設けられている。	・再発防止につなげる為に記入する項目を増やした方が良いと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3		